

石木ダム関連事業費 (2019年度石木ダム事業再評価資料より)

ダム負担金	99億7500万円	石木ダム建設費285億円の35%
水源地整備費等	20億7720万円	現地対策費
水道施設設備費等	324億9780万円	取水、導水、浄水、配水設備の建設費等
合計	445億5000万円	

財源内訳 (2021年時点の補助率によるもの)

	国庫補助金	88億5032万円	厚生労働省から
B	一般会計出資金	79億5492万円	佐世保市一般会計から
C	企業債	220億6090万円	佐世保市水道事業会計から
D	自己資金	56億8386万円	佐世保市水道事業会計から
	合計	445億5000万円	

$$\begin{array}{l}
 B = \text{約80億円(市税)} \\
 C + D = \text{277億円(市水道料金)}
 \end{array}
 \left. \vphantom{\begin{array}{l} B \\ C+D \end{array}} \right\} \mathbf{357\text{億円} = \text{佐世保市民の負担}}$$

- ※ 2019年度までの執行額を差し引いても、今後まだ244億円を負担しなければならない
- ※ 仮に現在の佐世保市の世帯数103,781で割ると、1世帯あたり24万円となる
- ※ 企業債は30年償還となっており、利息を入れると実際の負担額はもっと大きくなる
- ※ この負担は間違いなく水道料金値上げに繋がるだろう
- ※ 私たち佐世保市民は、このような大きな負担を背負ってまで石木ダムが必要だとは思っていない
- ※ 市民の多くは、支払った水道料金で老朽化した水道管の更新整備こそ急いでほしいと思っている
- ※ 佐世保市民にとっての石木ダム関連事業費の総額は長い間353億5千万円だったが、
2019年度再評価の資料の中で445億5千万円と書き換えられていた。
再評価委員会の中で検討されることも、議会に諮られることもなかった。